

石油技術協会 令和5年度 秋季講演会 「CCS 事業化に向けた取組と課題」

主催：石油技術協会

協賛：(独)エネルギー・金属鉱物資源機構，石油鉱業連盟，天然ガス鉱業会，(一社)資源・素材学会
(公社)石油学会，(公社)物理探査学会，(一社)日本エネルギー学会，海洋調査技術学会
(一社)日本地質学会，日本地熱学会，(特非)日本海洋工学会，日本地層評価学会
(公社)日本地下水学会

日時：令和5年11月8日(水) 9:30～17:30

場所：東京大学 小柴ホール 東京都文京区本郷7-3-1 TEL：03-3812-2111 (代表)

交通：地下鉄丸の内線 / 地下鉄大江戸線「本郷三丁目駅」徒歩10分，地下鉄千代田線「根津駅」徒歩10分，
地下鉄南北線「東大前駅」徒歩6分

開催方法：実地開催とオンライン配信を組み合わせたハイブリッド開催を予定しております。

実地開催会場にご参加頂くこと，オンラインにてご参加頂くことが可能です。

オンラインでは，リアルタイム(ライブ)およびオンデマンド(配信期間2週間程度)配信

参加費：3,000円：石油技術協会会員，賛助会員，協賛団体(所属者)

4,000円：その他一般

無料：学生(会員/非会員)

参加申し込み：登録サイトからお申込みください。

参加費支払いはクレジットカード決済または銀行振り込みといたします。

9:30 開会 司会 石油技術協会 副会長 島本 辰夫
9:30～9:40 挨拶 石油技術協会 会長 小寺 保彦

<基調講演>

9:40～10:10 「CCS委員会の立ち上げについて」
秋田大学 大学院国際資源学研究科 資源開発環境学専攻 教授
石油技術協会 CCS委員長 長縄 成実氏

<講演> 午前の部

10:10～10:55 「CCS法制における貯留終了後の国の役割に関する他国の例」
西村あさひ法律事務所・外国法共同事業
資源エネルギーチームパートナー弁護士 紺野 博靖氏

10:55～11:40 「資源開発事業評価におけるリスクベースドアプローチへの取り組みの現況及び
CCS事業への適用可能性について」
独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構
エネルギー事業本部 エネルギー開発金融部長 森 裕之氏

11:40～12:25 「GX投資拡大に向けた金融市場の概況・役割」
株式会社三菱総合研究所 サステナビリティ本部
脱炭素ソリューショングループ 研究員 高木 航平氏

< 講演 > 午後の部

13:30 ~ 14:15 「CCS 事業における損害保険の役割」
スイス再保険会社パブリック・セクター・ソリューションズ部門
Vice President 寺岡 弘達氏
スイス損害保険会社 コーポレートソリューション部門
部長 岩崎 智哉氏

14:15 ~ 15:00 「国内 CO₂ 貯留ポテンシャル評価」
日本 CCS 調査株式会社 地質調査部長 渡部 克哉氏

15:00 ~ 15:45 「国内初の CCS 事業化の取り組み～先進的 CCS 支援事業について」
独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構
エネルギー事業本部 探査部 先進的 CCS 推進チームリーダー 北村 龍太氏

— 休憩 —

15:55 ~ 16:40 「“大規模” 貯留へ向けての技術的課題 ～ 海外プロジェクトにおける lessons learned」
公益社団法人 地球環境産業技術研究機構 (RITE)
地球環境産業技術研究所 CO₂ 貯留研究グループ 主席研究員 横井 悟氏

16:40 ~ 17:30 パネルディスカッション「CCS 事業化に向けた取組と課題について」
ファシリテーター 石油技術協会 副会長 高橋 利宏
パネリスト 長縄 成実氏, 渡部 克哉氏, 北村 龍太氏, 横井 悟氏

17:30 閉 会

お問い合わせ先：石油技術協会
東京都千代田区大手町 1-3-2 経団連会館 17 階
石油鉱業連盟内
TEL：03-3214-1701 FAX：03-3214-1703
E-mail：office@japt.org
URL：https://www.japt.org/

